

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6328
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9064		事務事業名称	印旛沼流域下水道建設負担金						短縮コード	経常		臨時	9064
予算区分	会計	20	公共下水道事業特別会計	款	03	流域下水道費	項	01	流域下水道費	目	01	流域下水道費		
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☒ その他				根拠法令等	下水道法，都市計画法								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和４３年度に千葉県が生活環境の向上と広域的な水質保全を目的として建設に着手した印旛沼流域下水道幹線が，昭和４７年度に供用開始されたことに伴い開始したもの。市は処理場等の排水施設建設の負担軽減が大幅に図られることから同事業に参加している。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
事業区分「その他」のため評価対象外						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目	01	下水道						
						小項目（施策）	01	汚水排水の整備						
						細 項 目	01	汚水施設の整備拡充						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業	4501	公共下水道汚水施設整備事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	県の事業主体による重要水域を対象とした印旛沼流域下水道建設事業。								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 県の負担金支払請求を受け，起債（印旛沼流域下水道事業）により得た資金により負担金を支払った。								
	※平成19年度に計画していること： 同上								
意図 （何を狙っているのか）	県が行う印旛沼流域下水道建設に対して同下水道を利用することから，応分の建設費を負担する。								
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外								
区 分					単位	17年度	18年度		19年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標2								
	指標3								
活動指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標2								
	指標3								
成果指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標2								
	指標3								
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード		9064	事務事業名称	印旛沼流域下水道建設負担金			所属名	建設課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0			
		県	千円	0	0			
		地方債	千円	37,900	17,800	10,900	5,700	
		一般財源	千円	34	1	273	1	
		その他	千円	7,210	7,773	5,354	5,213	
	主な事業費の内訳			印旛沼流域下水道建設負担金 補助事業分36,955千円 単独事業分 8,189千円	負担金 25,574千円	印旛沼流域下水道建設負担金 補助事業分8,330千円 単独事業分8,197千円	負担金 10,914千円	
	人件費(B)			千円	2,320.8	2,347.2	2,347.2	
トータルコスト(A)+(B)			千円	47,464.8	27,921.2	18,874.2	13,261.2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☒ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 達成していない						
			☒ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 可能性はない						
			☒ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 見直す必要がある						
☒ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
				☐ 臨時的任用職員等の活用					
				☐ I T化等業務プロセスの見直し					
				☐ 受益者負担の見直し					
				☐ 類似事業との統合・役割見直し					
				☐ 上記以外の方法					
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
				☐ ない					

コード	9064	事務事業名称	印旛沼流域下水道建設負担金				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
事業区分「その他」のため評価対象外									

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									